

業務部速報

発信者》JREU
仙台地本業務部 / 湯ノ目
〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡1-4-3
TEL 022-297-0155
FAX 022-291-3070
JR 031-3981~3
FAX 031-3980
2020年 3月 30日

「中編成ワンマンの実施について」 (東北本線 黒磯～白河駅間)に関する申し入れ(その2) 団体交渉

2020年3月30日に申10号「中編成ワンマンの実施について」(東北本線 黒磯～白河駅間)に関する申し入れ(その2)の団体交渉を行いました。不明な点等は地本業務部まで連絡して下さい。

1項・531系中編成ワンマンの実施にあたり安全を最優先とし、お客さまサービスを確保し納得感のあるものとするために、会社一丸となり施策実施・成功に向けた体制を構築すること。また、教育体制・方法等を明らかにするとともに、施策実施日前まで取扱マニュアル・フローについて職場で出されている疑問点も含め整理すること。

回答：中編成ワンマンの実施にあたっては、これまでの知見を踏まえた車両改造や性能試験を行ってきたところである。またこの間、マニュアルの制定、乗務員訓練等を現場・支社一体となって取り組んできたところであり、今後においても引き続き必要な改善や教育を実施していく考えである。

【主な議論】

①ワンマン放送設定について改良すること。

- ・ICカードによる入力方法に改造は现阶段では出来ないが、E721系と同様にできないか、本社に上申しているが、現状は難しい。

②車側カメラ専用清掃用具の設置等について明らかにすること。

- ・行路貸与から、車両搭載への変更は水戸支社の車両のため調整は難しい。

③乗降確認責任者にどこまで求めるのか明らかにすること。

- ・乗降確認責任者は現状、郡山運輸区社員及び営業部と運車部の社員で行う。(ワンマンフローは営業部と運車部で出したため)今後、設備社員等にも周知し教育を行い拡大していく考え。
- ・旅客を挟んだ場合は、どちらの責任ということではなく、発生した際には事象にしっかり対処して対応してもらう。

④交直切替試験時の運転士による肉声放送の実施の有無について明らかにすること。

- ・申9号では肉声放送をする必要がないという回答であったが、実際には作業手順に明記されている。支社としては特に指示はしていなかったが、現場判断で放送を行うよう指導したと聞いた。支社として改めて確認していく。

⑤ホーム検知NFBの取扱いと最後部運転台の行き先表示の確認(黒磯駅における、回送列車から旅客列車、旅客列車から回送列車)について明らかにすること。

- ・勝田車セから出区の際にNFBを「入」にしてくる。

⑥今後も見据えた教育体制、教育方法について明らかにすること。

- ・指導員からも乗務員に声をかけているが不安あれば2回、3回の添乗も対応する。

⑦案内について

- ・8月頃までワンマンの利用方法について案内するために乗車する。案内行路は現場で設定している。